

質問

仁多米を有機米に転換を

町長

徐々に有機栽培を広げていく



田食 道弘 議員

質問 2月開催の仁多米振興大会での講演で、有機米生産者の第一人者である宮城県の石井稔さんから、安全安心をメインにした有機米へと仁多米を切り替えるよう提案された。

町長 本町では一部に無農薬・無化学肥料栽培に取り組む農家はあるが、なかなか普及しない実態があり。まずは減農薬・減化学肥料の特別栽培米に取り組む農家を一戸でも増やし、徐々に有機栽培へ広げていきたい。

質問 有機栽培をめざす農家の組織化や施設整備等に対し、国・県の補助事業等も活用しながら支援していきたい。

町長 今後、さらに子育て支援のまちづくりを力を入れていく考えだ。そのなかで、町としての宣言、条例制定等を含めて、

質問 国連で採択された子どもの権利条約の原則を明記した昨年12月改訂の文科省「生徒指導要領」を受けた本町の対応は。

教育長 町では生徒指導部会での研修により担当者などに周知している。統合小学校での「生活のきまり」は、保護者と一緒に子どもたちに示し、子どもたちの意見も聞きながら定めていきたい。



紙マルチ(有機米づくりの一手法)



始動した子ども基本法

その他の質問 有機米使用を契機にした学校給食無償化について

子どもの権利条例制定を

質問 子どもの権利を尊重する町であることを町内外に強く宣言するため、「奥出雲町子どもの権利条例」の制定を提案する。

質問 国連で採択された子どもの権利条約の原則を明記した昨年12月改訂の文科省「生徒指導要領」を受けた本町の対応は。

教育長 町では生徒指導部会での研修により担当者などに周知している。統合小学校での「生活のきまり」は、保護者と一緒に子どもたちに示し、子どもたちの意見も聞きながら定めていきたい。